

新型インフルエンザ発生に備えて －保健所職員に対するアンケート調査結果から－

日高良雄（延岡保健所）

1 はじめに

新型インフルエンザ対策については、健康危機管理上の喫緊の課題であり、各保健所において関係機関との協議や医療体制の調整整備、食料・日常生活品やマスク等の備蓄、発生時の対応等に関する住民・企業への啓発が取組まれているところである。

また、保健所職員に対しても所内研修やPPE着脱訓練などが実施されている。

そこで、当延岡保健所職員を対象に新型インフルエンザ発生に備えて具体的な対応をどの程度実施しているか、また発生に際して不安に感じていることについてアンケート調査を行ったので報告する。

2 対象及び方法

アンケート調査は延岡保健所の正規職員全員（36名）を対象に、20年11月、保健所長名で依頼し無記名式の回答で実施した。

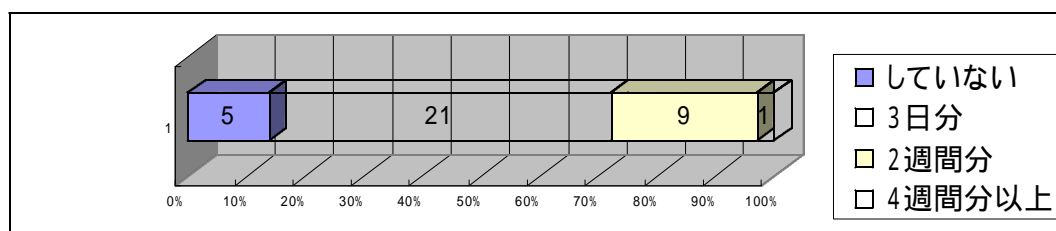
アンケート内容は、新型インフルエンザ専門家会議が示した発生段階と対応の図を明示した上で、各自の自宅における食料・日用品、手指消毒用消毒薬、マスクの備蓄状況及び発生時に学校・保育施設等が臨時休業となった場合の出勤の可否、公共交通機関利用自粛が呼びかけられた場合の出勤の可否、さらに新型インフルエンザ対策について不安に感じることについて質問を行った。

3 結果

対象者36名全員から回答があり、16名からは記述式回答も寄せられた。

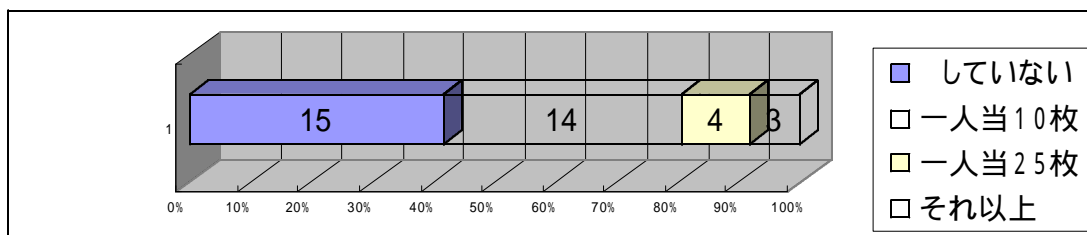
1) 食料・日用品の備蓄

「していない」との回答が5名（13.9%）で、2週間分以上備蓄しているとの回答は10名（27.8%）であった。



2) マスクの備蓄

「していない」との回答が15名（41.7%）で、専門家会議で示された必要備蓄数一人当たり25枚以上備蓄しているとの回答は7名（19.4%）であった。



3) 手指消毒用消毒剤の備蓄

「していない」との回答が 14 名 (38.9%) であった。なお備蓄している消毒剤としては、アルコール消毒剤が 18 名 (50.0%)、次亜塩素酸 Na 剤が 11 名 (30.6%) であった。

4) 学校施設臨時休業時の出勤

実際の発生時の対応として学校等の臨時休業がなされた場合の出勤の可否を尋ねたところ、出勤不可と回答して者は 1 名であった。ただ、「時々出勤できなくなることが生じる」と回答した者と合わせると 8 名 (22.2%) であった。

5) 公共交通機関自粛時の出勤

公共交通機関利用自粛が呼びかけられた際の出勤の可否を尋ねたところ、出勤できなくなるとの回答が 7 名 (19.4%) からあった。

6) 不安に感じること (記述式回答)

16 名からの回答の概要は以下のとおりであった。

自分及び家族の健康に関して (8 題): 自分から家族へ感染させないか、家族が感染した場合の対応、マスクで感染防げるか等への不安

所内体制に関して (8 題): 保健所が機能を果たせるか、人員体制の不安、各種備品 (検査キット、PPE、食料他) の備え等への不安

医療体制に関して (1 題): ワクチン供給体制の整備が必要

社会機能に関して (1 題): 社会機能の麻痺への不安

4 考察

新型インフルエンザ対策については、これまで医師会を始め市町村、各種団体等に対して協議や研修を進めるとともに、食料やマスクの備蓄について啓発を進めてきているが、関係者を始め地域住民がどの程度認識、行動しているかが確認できていない状況である。

そこで今回対策の最前線にいる保健所職員に対して調査を実施した結果、保健所職員においても、新型インフルエンザ対策としての食料・日用品やマスク等の備蓄が 100% 実施されている状況ではなく、可能な限り早急の備蓄をしてもらう必要があると感じられた。また学校等臨時休業時の出勤及び公共交通機関自粛時の出勤対応などについての質問からは、約 8 割の職員はともに「出勤できる」と回答していたが、出勤が困難となる職員も認められ、県としての明確な指示が出ていない状況下ではあるものの、新型インフルエンザ対策を考える上で、県全体としての体制整備について早急な検討が必要であろう。今回自由回答で不安なことについて回答してもらったが、所内体制を始め自分及び家族の感染への不安があることが認められた。今後とも職員を始め、関係機関等、県全体での体制づくり、啓発などの対策をさらに進める必要があると考えられる。

5 まとめ

新型インフルエンザ対策については各保健所ともその対策を進めている状況ではあるが、自らの事前準備、体制整備が十分でない状況が確認された。延岡保健所ではアンケート調査後、職員を対象にマスク、消毒剤について購入斡旋を行うとともに、所の出入り口 2 カ所にマスクと手指消毒剤の配備を行った。また新年度となり、再度全職員に対する所内研修、PPE 着脱訓練を行う予定である。

喫緊の課題である新型インフルエンザ対策については、県として体制づくりにより一層取り組む必要があり、他の部局も巻きこんだ体制整備を早急に確立していただくとともに関係機関との連携協議をお願いしたい。